

1. 事業の位置付け

事務事業名	男女共同参画意識改革事業		
事業担当	市民部 人権・男女共同参画課		
予算科目	01-030106-220000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	03	3 男女共同参画意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成19年度～平成28年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 公募市民委員、市民活動団体】		
目的・目標		事業の概要	
男女平等の意識啓発を推進し、男女共同参画に対する理解と認識が深まっています。		男女共同参画の推進に必要な意識改革を図るため、啓発講座などを開催し、情報誌を発行します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	啓発講座等開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			12	12	12			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	啓発講座等参加者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			2,300	2,300	2,300			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	②：若干遅れている								
	遅れている理由	市民活動団体との共催講座数が、当初の見込みを下回った。							
平成19年度の主な取組と成果									
男女共同参画フェスティバルの講演会、企画実行委員会「宙」の講座、市民活動団体との共催による講座、DV防止講演会などの開催により、男女共同参画に関する意識啓発をすることができた。									
平成19年度の検証結果	B：おおむね成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国の最重要課題として位置づけられている男女共同参画施策に関する事業であり、必要性は高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画の推進につながるものであり、有効性は高い。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	法律に基づき策定した市の男女共同参画計画において位置づけている事業であり、妥当性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市民活動団体との協働による講座等の企画実施については、会議数を減らすなど、手法の効率化を進める必要がある。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 必要性、有効性、妥当性は高い。事業企画運営に伴う会議の開催回数や進め方を工夫するなどして効率性の向上を図る必要がある。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				啓発講座などの開催、情報誌の発行	啓発講座などの開催、情報誌の発行	啓発講座などの開催、情報誌の発行		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	2,769	3,515	3,879	0	0
事業費 (A)		0	0	2,769	3,515	3,879	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	71.38				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.81	1.15	1.15	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.15	0.20	0.20	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	7,312	10,336	10,336	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	10,081	13,851	14,215	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 法律に基づき策定した市の男女共同参画計画に位置づけている事業であり、引き続き実施していく。	
平成21年度取組方針	
市民活動団体や他機関との連携により事業効果を高めていく。	
課長コメント	男女共同参画社会の実現には、なお一層の努力が必要であるため、男女平等の意識啓発を進めるにあたり、市民と一丸となった取り組みを継続していきたい。